

一般社団法人宗像医師会

前向き子育てプログラム「トリプルP」による子育て支援事業



## 2022年度実施報告書

〈はじめに〉

一般社団法人宗像医師会は、医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進することを目的として、明治13年（法人成立は昭和22年12月）に設立した宗像市及び福津市において就業又は住居を有する医師の職能的学術団体です。よって、地域医療・福祉の向上に寄与するために行政（宗像市・福津市・福岡県）と連携して様々な地域医療活動を行っています。保育園・幼稚園の園医等学校保健事業や乳幼児健診・予防接種等母子保健事業を地域医療活動の一つとして行っていますが、主な活動は、子育てセミナー・講演会の開催、出産前小児保健指導（ペリネイタルビジット）等があります。

2020年、公益財団法人JKAの補助事業に採択され、学校保健事業及び母子保健事業の一環として、世界で最も研究結果が蓄積され効果に信頼性がある子育てプログラム「トリプルP」を用いた子育て支援事業を行うことといたしました。

具体的には、宗像市・福津市の保育園、幼稚園の先生方に子育てプログラム「トリプルP」ファシリテーター（認定指導者）となっていただき、最終的には各園でファシリテーターによる保護者向け子育て講座を開催出来るような状況を整え、家庭と園の子育て環境の向上に寄与していく、というものです。

### 1. トリプルP（Positive Parenting Program 前向き子育てプログラム）とは

子どもの行動・感情・発達の問題の予防・改善を目的とした子育て・家庭支援プログラムです。子どもの発達や行動について、日常の家庭生活で使える具体的な技術が、前向きな子育ての実践に役立ち、親の自信につながります。30年以上の研究に基づき、国際的に高い評価を得ているプログラムです。豪・米・英・独など世界25ヶ国で使用されており、2006年より日本でも展開が始まっています。

### 2. これまでの取りくみ

#### 1) 2020年度（事業初年度）

グループトリプルPファシリテーター養成講座（12歳までのお子さんをお持ちの保護者を対象としたグループワークを実施するファシリ

テーター（認定指導者）オンライン養成講座。以下「グループトリプルPファシリテーター養成講座」という。）を宗像市・福津市の保育園、幼稚園の先生方9名が受講し、認定試験に合格しました。他にも、ファシリテーターが所属する園等で保護者対象のグループワークやトリプルPセミナー等の開催を予定していたのですがコロナ禍で実施出来ませんでした。

## 2) 2021年度

- ・トリプルPセミナー（オンラインセミナー）の開催  
セミナーでは、トリプルPのエッセンスを約1時間半に凝縮し、子どもとの良い関係をつくり発達を促して好ましい行動を増やす具体的な子育て技術を紹介します。（講師：トリプルPジャパン理事・福岡女学院大学教授の藤田一郎先生）宗像市・福津市の保育園、幼稚園に先生方及び保護者が15名受講しました。
- ・グループトリプルPファシリテーター養成講座（オンライン）  
宗像市・福津市の保育園、幼稚園の先生方が7名受講し、認定試験に合格しました。

## 2. 2022年実施事業

### 1) 第7回トリプルPジャパン研究会 佐賀大会

主 催：前向き子育て佐賀（後援：佐賀市）

日 時：2022年6月12日（日）10:00～15:00

会 場：佐賀市アバンセ研修室、オンライン（Zoom）併用

プログラム：

- ・ティーントリプルPセミナー「責任感のあるティーンを育てる」  
トリプルPジャパン理事、福岡女学院大学教授 藤田一郎先生
- ・特別講演「科学的根拠に基づく子育て」  
トリプルP インターナショナル・トレーナー、公認心理師・臨床心理士、パーマネント・クリエイティブ・マインド（兵庫県）  
香川葉月氏

演者（香川葉月氏）は発達障害のお子さんや保護者、学校の先生を支援しており、トリプルPやポジティブ行動支援など、科学的根拠に基づく子育て・子育て支援について話していただきました。

#### ・一般演題

オンライン会議システムを用いた前向き子育てセミナー実施報告  
Zoomを用いたグループトリプルP実施の効果判定

自己学習型育児プログラム「トリプル P オンライン」の導入とその  
評価 ～新型コロナウイルス影響下での育児支援～  
保育士・教員養成課程で学ぶ子育て  
他

宗像地区からは、保育園の先生が 2 名、オンラインにて参加しました。

## 2) グループトリプル P ファシリテーター養成講座

- ・日 時：9 月 1 7 日(土)～1 9 日(月、祝)、3 日間、10 : 00～18 : 00
  - ・場 所：ZOOM システムによるオンライン講座
  - ・講 師：香川葉月氏（トリプル P 認定トレーナー）
- 保育園の先生が 1 名受講し、認定試験に合格しました。行事と重なった園が多く、受講者が 1 名になったことは残念でした。

## 3) レベル 2 特定（セミナー）トリプル P ファシリテーター養成講座

- ・日 時：1 1 月 2 3 日(水・祝)9 : 00～17 : 00
- ・場 所：ZOOM システムによるオンライン講座
- ・講 師：香川葉月氏（トリプル P 認定トレーナー）

受講資格はグループトリプル P 認定ファシリテーターで、2 0 2 0 年にグループトリプル P ファシリテーター養成講座を受講し、認定ファシリテーターとなった保育園の先生が 1 名受講し、認定試験に合格しました。レベル 2 特定（セミナー）トリプル P ファシリテーターは、トリプル P セミナー（トリプル P のエッセンスを約 1 時間半に凝縮し、子どもとの良い関係をつくり発達を促して好ましい行動を増やす具体的な子育て技術を紹介する）を開催することが出来ます。

## 4) トリプル P グループワーク開催

- ・日 程：11 月 16 日（水）、24 日（木）、30 日（水）、12 月 7 日（水）、14 日（水）、21 日（水）、28 日（水）（計 7 回）  
10 : 00 ～ 12 : 00 （12/14、12/21 は 20 分間の個別相談）
- ・対 象：幼児の子どもがいる保護者
- ・方 法：ZOOM によるオンライン講座
- ・講 師：藤田 一郎先生（福岡女学院大学子ども発達学科教授）
- ・内 容：

### 第 1 回

前向きな子育て、子どもの行動のとらえ方を学び、目標を考えます。

## 第2回

子どもと良好な関係をつくり、発達を促すための10の方法を学びます。

## 第3回

対処が難しい子どもの行動をうまく扱うための7つの方法を学びます。

## 第4回

子どもの問題行動が起こらないように備えるための活動を学びます。

## 第5回、6回

個別相談

## 第7回

子どもの行動の好ましい変化について話し合い、復習を行います。

幼稚園の保護者2名が参加し、グループワーク受講前、受講後にアンケート調査を行っております。

1名は質問紙調査で効果が認められ、2名の自由記述によるとグループワーク受講によって子育ての振り返りができて、トリプルPの子育て方法を参考にして子どもへの関わり方が少し変化したことが推測できます。グループワークによる効果検証の詳細につきましては、講師の藤田先生に別添「トリプルPグループワークによる効果検証」を作成いただきましたので、ご参照ください。

### 〈振り返り〉

最終的に、宗像市・福津市の全ての幼稚園、保育園等にトリプルPファシリテーター（認定指導者）が1名以上在籍するという事業目標をたてています。

現在、グループトリプルPファシリテーターは17名、レベル2特定（セミナー）トリプルPファシリテーター1名です。宗像市・福津市の全ての幼稚園、保育園等は72施設ですが、ファシリテーターが在籍しているのは8施設で、約1割強です。ファシリテーターは在籍していなくても、職員や保護者がセミナーやグループワークに参加した施設を含めると14施設となり、全体の2割まであと少しといったところですが、まだまだトリプルPの普及・啓発は道半ばです。

2022年度のグループトリプルPファシリテーター養成講座の受講者が最終的に1名になってしまったのは残念でしたが、園行事と重なって参加出来ない方が多く、日程が合えば受講したかったとの声を多数いただきました。

今回、コロナ禍のためこれまで開催出来なかった保護者対象のグループワークをオンラインで初めて開催しました。在宅勤務やオンライン授業が一般的に行われるようになってきているからか、オンラインによるグループワーク開催に特に支障をきたすようなことはありませんでした。グループワークは計7回もあるので、毎回園で開催するよりも、むしろオンラインの方が保護者も参加しやすいのではないかと感じました。

#### 〈2023年度の計画〉

引き続き、トリプルP ジャパン理事である福岡女学院大学教授藤田一郎先生にご協力いただき、幼稚園・保育園等における子育て支援としてのトリプルP 啓発活動を行う予定です。宗像市・福津市の半数以上の園がファシリテーター養成講座、セミナー、グループワーク等に参加し、子育てにおけるトリプルPの活用が行われるようになれば、これらの効果の評価もいよいよ本格的に行えるのではないかと期待しています。

一般社団法人宗像医師会

前向き子育てプログラム「トリプルP」による子育て支援事業



この事業は、オートレースの補助を受けて実施しました。

## トリプル P グループワークによる効果検証

### 1. 方法

グループワーク事前と事後に質問紙調査を行って効果を検討しました。

- ・子どもの適応性：子どもの社会的に好ましい行動と難しい行動に対する親の認識を測る 25 項目の審査尺度である Strength and Difficulties Questionnaire (SDQ) を使用した。
- ・親の適応性：大人の抑うつ、不安、ストレス症状を測る 42 項目の審査尺度である Depression-Anxiety-Stress Scales (DASS) を使用した。

### 2. 調査結果

1) Aさんは事前質問紙を2021年11月10日に、事後質問紙を12月28日に記入した。

グループワークでの対象となる子どもは3歳である。グループワーク受講により、子どもの社交的行動が改善して、親の不安とストレスが軽減していた。受講した感想では、「悩みや不安があるのは自分だけではないんだと感ずることができ、一緒に学んでいける楽しさがありました。自分にとってちょっと難しいなという内容もありましたが、何度かチャレンジしてみて自分達にあうやり方を見つけていきたい。」と書かれています。

2) Bさんは事前質問紙を2021年11月15日に、事後質問紙を12月29日に記入した。

グループワークでの対象となる子どもは4歳である。グループワーク受講により、子どもの適応性、親の適応性ともにやや問題への認識が強くなった面がある。しかし、受講した感想では、「トリプル P は、親としての自分が軸になってとても新鮮でした。どう教えられるのか、どう接すればいいのか、とにかく自信が持てず悩んでいました。今はほめる、認めることで、私自身も子どもも少し変わってきたように思います。受講できて本当に良かったです。」と書かれています。

### 3. 考察

受講者が2名と少なかったのですが、1名は質問紙調査で適応性の改善効果が認められました。2名の自由記述によると、グループワーク受講によって子育ての振り返りができて、トリプル P の子育て方法を参考にして子どもへの関わり方が少し変化したことが推測できます。

グループワークの最後に、今後の子育てに困り感があれば、ワークブックを読み返すなどして、現在の子育て状況を振り返り、関わり方を工夫してみようと考えてもらうよう伝えていきます。